

よく使われる DTM 用語

作成者:水越 靖人(ミズコシ ヤスト)

HN:いぬすけ

アサイン

音源や MIDI イベントなどを割り当てること。

ASIO (アジオ)

Audio Stream In/Out の略。Steinberg 社が開発したパソコンとオーディオ機器を連携させるための規格。マルチトラック録音を可能にした技術。ASIO4all というフリーのドライバーがあるので初めはこのドライバーを DL すると吉！

RTAS (Real Time Audio Suite)

Digidesign 社の「ProTools TDM」「ProTools LE」などのプラットフォーム(※)で動作するソフトウェアの規格。日本では主にアールタスと呼ばれる。

(※プラットフォーム)

コンピュータにおいて、ソフトウェアが動作するための土台（基盤）として機能する部分のこと

アルペジエーター

入力した和音を分散和音(アルペジオ)にする機能。和音を弾くだけで複雑なアルペジオを演奏することが出来るようになる。

AIFF (エーアイエフエフ)

主に Macintosh でよく使われる拡張子、Audio Interchange File の略称。音質的に WAV 同様無圧縮であるため、WAV と変わるわけではない。ただ、WAV を AIFF にして保存した場合、100 バイトほど減る。なお拡張子は*.aif *.aiff どちらでも良い。

エフェクター(Effector)

音になにかしらのエフェクトを付加する機器のこと。大まかには、ひずみ系、ダイナミクス系、空間系、モジュレーション系などに分類される。

FM 音源

金属的な音色を得意とする電子音源のこと。ドラム、ベース音を出すのが得意で、80年代のポピュラー音楽や、80年代半ば～90年代前半のゲーム音楽に広く使われた。

LF0(エルエフオー)

Low Frequency Oscillator の略称。三角波、ノコギリ波、パルス波などの低周波を周期的に発生させる装置で、シンセサイザーに搭載されることが多い。

エンベロープ(Envelope)

音の変化曲線のことを指す。シンセサイザーにおいて ADSR によって変化曲線を描き、音を作る。

AudioUnit (AU)

GarageBand、Logic Express、Logic Pro などアップル社製品に対応するソフトウェア規格のこと。

オシレーター

ノコギリ波、矩形波、三角波、パルス波を発生させる装置。アナログシンセに装備されている機能。

エンハンサー

エフェクトの一種で、音を目立たせる効果のものに指して使われる言葉。音を歪ませ上下各々の倍音を作り出して音質を整えたり強調したりする機能。

クオンタイズ

MIDI データのタイミングのズレを補正する機能。MIDI のリアルタイム録音の際に設定する。デュレーションやベロシティのコントロールも可能。

ゲートタイム

音の長さのこと。鍵盤を押したときから離れたときまでの時間。ピアノロールでいうノートの線の長さのこと。

サイン波

正弦波とも呼ばれる音。シンセパッドなどでよく使われる。純粋な正弦波は高音域成分を全く含まないので、こもった音になる。

サンプリング

アナログ信号をデジタル処理すること。短いフレーズや音を録音するときに用いられる。

サンプリングレート

一秒間に何回サンプリングするか数値で表したもの。ビットレートとの違いをごちゃごちゃにしないようにしよう。

三角波

波の形が規則的な三角形をした波形。アナログシンセの音色に用いられる。フルートなどのきれいな音に用いられることが多い。

シーケンサー

演奏データを編集する機器のこと。今日の DAW ソフトには標準で内蔵されています。

DAW (ダウ)

Digital Audio Workstation の略称。MIDI とオーディオデータの編集・ミックス・マスタリングを一貫して行うことができる総合楽曲制作ソフトウェアのこと。

2mix(ツーミックス)

曲の製作の最終段階でパートごとの多数のトラック(マルチトラック音源)を L+R のステレオ 2 チャンネルにミックスダウンすること。あるいはミックスダウンした音源のことを指す。

DTM (ディーティーエム)

Desk Top Music の略称。シーケンサーソフトを動作させてパソコンで楽曲制作を行うことの総称。

Db(デシベル)

音の大きさの単位。

ノーマライズ

録音したオーディオ・ファイルの音量を最大にする処理。

ノイズゲート

不要なノイズを除去するためのエフェクター。

ノコギリ波

金属的な響きで、主張の強い音色を作りたいときに多用される波形のこと。

高音域成分がかなり多く含まれている。

バウンス

編集した楽曲データをサウンドファイル(mp3 や WAV)に出力すること。

バスパワー

USB や Fire Wire など、パソコンから直接電源を供給する方法。

バーチャルアナログシンセ

アナログシンセサイザーの音声生成プロセスをデジタル処理で再現したシンセサイザーのこと。純正アナログシンセのように、気温や湿度などの外部環境の影響を受けない。

パラアウト

parallel output(パラレルアウトプット)の略称。音色ごとに出力されるトラックを分けること。

パルス波

矩形波とも呼ばれる、波の形がコの字型に 90 度ずつ曲がった形をした波形のこと。

「ポー」といった感じの音。木管楽器をイメージすると分かりやすい。リード系音色で用いられることが多い。ノコギリ波よりも高音域成分の少ない音。

パン

音の定位を設定する方向。聴かせたい音を左右に振り分けることができる。

バンドル

ある製品に別の製品が付属して販売、あるいは配布すること。使用权のようなもの。

ファンタム電源

外部電源が必要なコンデンサーマイクに電圧を供給することができる電源。

ピッチ

音程のこと。

ピッチベンド

音程を変更する機能。MIDI ノートとして記録可能。

ビットレート

音量に対してどれくらい細かく記録するか分解能を数値で表したもの。

BPM(ビーピーエム)

Beat per Minute の略称。曲のテンポを表す用語で 1 分間に 80 拍の場合は「80BPM」

VST(ブイエスティー)

Virtual Studio Technology の略称。Steinberg 社が定めた規格で、「VST」に対応している DAW ソフト上で使用できる。

プラグイン(Plugin)

母体となるソフトの機能を拡張するソフトのことで、DTM におけるプラグインといったら VST などのソフトシンセやエフェクターのこと。

プリセット (Preset)

機器の初期状態の設定のこと。シンセにある音のお手本のようなものにも指して使う。自分で作った音などもプリセットとして保存できる。

ベロシティ

MIDI ノートの強さのこと。簡単に言うとピアノの鍵盤をどれぐらいの強さで叩いたかである。

VCO (Voltage controlled oscillator)

電圧によって発振周波数を変えることができる装置。低い電圧では低い音程、高い電圧では高い音程が出る。

VCF (Voltage controlled filter)

電圧によってカットオフ周波数を変えることができるローパスフィルター(LPF)。

ポリフォニック

同時に複数の音が出るシンセサイザーのこと。

マイクプリアンプ

マイクの音量を増幅させる装置。

マキシマイザー

全体の音圧を上げたいときに利用するリミッター系のエフェクターのこと。

マスタリング

ミックスダウンして出来上がった音声データを、音圧レベルや質感の補正などを行い最終的に音源データとして完成させる作業。

MIDI (ミディ)

Musical Instrument Digital Interface の略称。他メーカー間の電子楽器同士でも演奏データをやり取りできるように定められた世界共通規格。演奏情報を数値として記録するためファイルサイズが小さい。

MIDI ノート

ピッチとベロシティを表す MIDI データのこと。

ミックスダウン

編集した楽曲の各トラックの音量バランス・パンニング・エフェクターの設定を行いトラックダウンできる状態にまとめる事。

モノフォニック

1音しか発音しないシンセサイザーのこと。

ユニゾン(Unison)

同じ音程で2つ以上の音が鳴ること。シンセサイザーの機能として、同時発音数を犠牲にして1つの音程に対して複数のオシレーターを割り当てて、音を厚くすることが出来る。これをユニゾン機能と呼ぶ。

リミックス(Remix)

過去に作った曲、もしくは作られた曲を新たに作り直すこと。もともとはただエフェクトを追加するだけだったが、現在では新しい音を追加したり、リズムパートを変えたりと幅広く変化させるのが主流である。

ReWire(リワイア)

2つのソフトウェアの間でオーディオデータや MIDI データをやりとりするためのシステムのひとつ。1998年に Propellerhead の ReBirth RB-338 とスタインバーグの Cubase の連携をとるために Propellerhead Software AB が開発。以降いくつか改良と機能の追加が重ねられ、現在は ReWire 2 がリリースされ、異なるメーカーの多数の DAW ソフトウェアに対応している。たとえば、Cubase を使いながら Fl Studio を使って作曲をする、見たいな感じ。

レイヤー(Layer)

シンセサイザーで異なる複数の音色を同時に鳴らして厚みのある音を作る機能。ただしソフトシンセの場合にはレイヤーすればするほど CPU を使用するため重くなるため注意が必要。しかし熱い音を作る手法としてはかなり効果的である。

レゾナンス

LPF でカットする周波数付近の周波数帯域を強調する機能。

レイテンシー

コンピュータにデータを入力～出力される間の遅延時間(タイムラグ)のこと。レイテンシーが大きいと、演奏した音が聞こえてくるまでに遅れが生じてしまう。

LPF (ローパスフィルター)

ある値以上の周波数をカットするフィルター。

WAV (ワブ)

主に Windows で使われている非圧縮データ用のオーディオ形式。拡張子は「.wav」

DTM の用語はこれだけではありません。よく使うものや分かりづらいものをピックアップしてみました。ほかに分からない単語や気になった単語があったら是非調べてみたり、先輩方に聞いてみたりしてください！

This document was written by Inusuke.